

R7 卒業生を囲む会 ○生徒の感想○

・今回話を聞いて、志望動機がしっかりしていると感じました。私もこのくらい志望動機を詰めていかないと、と思いました。就職した二人の方に共通していたのは、高校と大人では責任の重さが違うと言っていたのは印象的でした。大学、専門学校に進学した方々はとても楽しそうで、進学して良かったと思っていることが伝わってきて、素敵でした。将来の進路をあらためて考えるきっかけにもなって、この講話を聞いて良かったなと思いました。(3年女子)

・就職したお2人の話を聞いて、学生と社会人の違いは「責任感」の違いだということが分かった。学生のうちは、先生や保護者にフォローしてもらえるけど、社会にでたら、責任を負うのは自分なので、学生の頃から課題の期限を守りたいと思った。日頃から期限を先延ばしにするくせをつけないようにしたい。進学したお2人の話は、高校生の頃に学んだことをさらに掘り下げていき、そこから発展している感じがして良かった。自分が何をしたいのか、学びたいのかをよく考え、いろいろな学校のオープンキャンパスに参加して比較することが大切だと分かった。(3年女子)

・一人目のお話では、会社の雰囲気や、書類だけではわからないところもこまめに確認しておくべきなのだなと思いました。「責任感」「マナー」「礼儀」は今よりもっと身に付けていきたいです。二人目のお話では、「好きなことを活かして仕事をする」というお話でした。何か伝えたいことがあったほうが直接的な熱量に繋がりがやすいというのもとても聞いていてすごいなと思いました。三人目のお話では、大学のお話でしたが、「礼儀」「作法」はやはりどこに進んでも重要視されるものなのだなと思いました。四人目のお話では、同じメディア科の方だった為、とても参考になりました。進学された専門学校には“特待生制度”があり、減免などもあったことで、「三年制」を選択することができたとおっしゃっていました。自分も、学校を選ぶのに良い点や先のことでしっかりと道筋を立てていけるように頑張りたいと思いました。(3年女子)

・4人の方々それぞれ違うお話をしてくださって、色々な視点から進路について考えることができた。やっぱり高校生と社会人の違いは責任だなと思った。まだ社会人になったことがないので感覚はわからないけど、今のうちから責任を持つことを意識しようと思った。私は進学するので、高校でやってきたこと、志望理由をきちんとまとめて面接の時ちゃんと伝えられるようにしようと思った。自分の進学先の教育理念や授業内容もきちんと確認して、自分がそこで何を学びたいか、自分がそこで生活できるイメージができるかどうかという点が、とても重要なことだと思った。自分の進路を実現できるように、今日のお話を参考にして受験をむかえられるように頑張りたい。(3年女子)

・卒業した人のお話を聞くことで、実際社会に出てから何が大切かを今一度理解することができた。一人一人の話で出てきた、礼儀・マナーを再度意識して生活していこうと思った。職場選び、学校選びは実際に見てから選ぼうと思った。今回の話で、自分の進路について考える時期・決める時だと実感する期間になった。

(3年男子)

・卒業生のお話をきいて、会社に入るとその規則にしたがうことや1つ1つの責任感がとても大きいことが分かりました。今は、ミスをしてもしわりがカバーしてくれることが多くあるけど、大人になると全てが自分の責任になることもあるので1つ1つに気をつけていきたいと思いました。また、大学・専門は2年の夏からいろいろな情報を集めてオープンキャンパスに行ったりして、ちょうど今くらいにAOが始まって9、10月あたりには進路が決定することが分かりました。高校とは違って、教授との関わり方も今以上に気をつけないと成績にも響いていくので、今から敬語やメッセージでの文のやりとりの仕方についてもしっかり勉強してこれからも生かしていきたいと思いました。これからの面接練習も、面接ノートをしっかり作ってたくさん練習を重ねてしっかり行っていきたいと思います。(3年女子)

・卒業生の方々のお話を聞いて、社会人と学生の違いで、やはり社会人には責任感、礼儀が大切なのがよく分かりました。また、仕事をする上で、スピードと確実性も作業する上で大切だなと思いました。大学については今まであいまいにしか分からなかったけれど、話を聞いてみて、実際に教授とはどういう人が多いのかということや、高校でがんばったこと、受かるまでにどのような事をしたなど様々な話を聞くことができてよかったです。(3年女子)

・今回卒業生を囲む会を通して思ったことは2つあります。1つ目は、社会人と学生の違いについてです。責任感が全然違うと答えてくれた人がたくさんいて僕もそう思っていました。社会人になると完全に自分1人の責任なので周りの人はフォローしてくれません。ゆえにその責任感をきちんと意識しながら就職活動にいきどんでいきたいです。2つ目は、面接対策です。Tさんが、明るく元気で良い人材に見えるように、また、最低限のマナーは持っておいた方がいいと言っていてとても参考になりました。(3年男子)

・就職であれ、進学であれ、自分の進みたい道を選ぶことが案外重要なのかと思いました。自分の就きたい職に就くには、やはり自分を追い込むことや、足りていない部分を補い、確実に着実に積んでいくのが就職・進学の時のようだと感じました。卒業したら、責任は全て自分であるということを皆さんお話ししていましたので、責任感を常日頃から意識します。(3年女子)

・今回の進路講話を聞いて、先輩方の言葉を参考にしていこうと思いました。私はまだはっきりとどのような仕事に就きたいか分かっておらず、自分に合う仕事も分からないので、有給とかも大切だけど、Gさんがおっしゃっていたように自分の好きな事や趣味を活かせるような仕事に就けたらいいなと思いました。そのために、パソコンで求人票をしっかりと確認したり、進路室に行ったりして見つけようと思いました。(3年女子)

・大学進学でも就職にしても、責任感や礼儀作法が必要だと思い、ちゃんと覚えておこうと思いました。大人になるにつれて責任の重みがまったく違い、目をかけてくれる人がいなくなったりするのでよく上司の方々に聞いたり相談しようと思いました。また、よく自分をつきつめる時間をとってしっかり考えようと思いました。

(3年男子)

・みなさんのお話を聞いて思ったことは、高校生と社会に出てからの差が大きいことだと思いました。その中でも大きいものは、責任の重さで、忘れ物や、課題をやっていなくても先生が注意などをしてくれて、大きなミスをして先生方によって守られているけれど、社会に出てからだと、ミスをしたときに自分のせいになってしまうし、お客様が関係していると会社の信用にもつながってくるから、今日は卒業生のお話を聞いてよかったと思います。この話を活かして、今から就職するまでに教えてもらったことを頭に入れておこうと思いました。(3年男子)

・どんな仕事をしているのか、大学・専門学校で何を学ぶのかを知ることができ、会社では、職場の雰囲気、自分にあった会社を選んだり、学生とちがって責任の重さで会社の信用を失ってしまったり、スピードと正確性が必要になっていくことが分かった。大変であるがやりがいがあることは良いなと思った。大学・専門学校では、どんな専攻があるのか、何を学ぶことができるのかを知れて良かった。入試情報をしっかり把握することが大切だと改めて考えることができた。会社・進学しても、礼儀とマナーや正しい言葉遣いをするのが重要だと分かった。これからは、入試に向けて、勉強と面接練習に励んでいきたい。(3年女子)

・礼儀や敬語は会社、専門学校、大学ですべて共通しているなどということが分かりました。面接はその会社や専門学校、大学のここがいいと思ったことなどを率直に面接官に伝えることがいいのかなと思いました。また、会社では、責任感がとても重要になってくるのだなと思いました。そして大学と専門学校はどういう大学、専門学校なのかをきちんと把握しておくことが大事だなと思いました。これらをふまえて私は面接をしっかり練習しておこうと思いました。(3年女子)

・進路講話を聞いて、高校3年間は私たちにとってものすごく大切であるとともに、時間がとても短いのだと、あらためて自覚しました。今日、進路講話に来られた卒業生たちは、2年生の頃から進路について考え調べ、悩んでいると聞いてとても焦りました。今一度自分の考えを改め、この大事な1年間に充実したものになろうと思います。就職や進学した方々の職場や学校の説明を聞いて、それぞれ何を学べるのか、何を行うのか知ることができました。(2年男子)

・今回の「卒業生を囲む会」では、写真専攻だった先輩がいらっしゃいましたが、先輩が進学なさった日本写真芸術専門学校の話聞いて、その学校に少し興味がわきました。自分も現在写真専攻にいる身なので、先輩の高校時代の話は参考にし、これからの授業や部活に取り組んでいきたいと思いました。受験や就職については、4人の先輩のお話すべてがとてもためになり、特に、志望したところを受けた理由を聞いたことは、こんな理由あるのかとすこし驚いたのと同時にそこを目指すには十分な理由でとてもすばらしいものだなとも思いました。来年も「卒業生を囲む会」はあると思います。そのとき私たちは3年生となり、進路と必ず向き合う時期になっているので、今回以上に集中して、進路を考えることができればいいなと思っています。(2年男子)

・まだ中途半端ではっきりとした進路が見えていなかったなので、話が聞けてよかった。それでも行きたい大学によって受験の仕方や勉強内容が違うので、自分の気持ちを大事にして、先生に伝えて、親と相談していこうと思った。あとは、調べて違いを見つけて、自分がよかったと思える選択にしたいと思った。(2年女子)

・話を聞いていて、責任感や礼儀、自分の意思の大切さを感じました。高校生と社会人の違いそして共通して挙げられた責任感と礼儀ですが、高校2年にもなって、まだまだ身についていません。提出期限を過ぎてしまったり、やるべきことを後まわしにしてしまったりすることが多くあります。また講評や専攻の時間などで自分の意思をうまく話せないことが大半です。残りの高校生活で、少しでも改善できるように努力したいと思いました。そして自分の意志の強さについてですが、Gさんがやりがい大切にほしいというお話をされました。考えなければならないことはたくさんありますが、やりたい事がなんだったのか、自分の気持ちを忘れないようにしたいです。楽しいことだけではなくことも頭に入れて、有意義に過ごせたらいいなと思いました。

(2年女子)

・今日の進路講話で、2年生の時から、自分がどんな学校に行きたいかをきちんと調べておきたいと思いました。また、社会人になったら、親や先生に助けてもらうことはできなくなり、自分で責任を負わなくてはならないことが改めて理解できました。今からでも、自分がどんな進路に進みたいのかたくさんの時間をかけて考えていきたいです。普段から、基本的なマナーや言葉づかいに気をつけて生活していきたいです。(2年女子)

・いろいろな就職先や進学先について知ることができた。また、就職する上でどの会社も責任感が大切になることが分かった。大学、専門学校では、受験前、受験後それぞれで大切なことがいくつかあることが分かった。(1年男子)

・進路講話で、会社で働いたり、大学に進学したりしている卒業生の話聞いて、進学や就職の時の面接などで、今回の進路講話で、教えてくださったことを参考にして、面接ではマナーを守ってやれるようにします。そして1、2年で、できるだけ早く自分の進路について決めて、目標も決め、目標に近づけるようにします。卒業の後に、どこに行きたいかや、どのようなことをするのかを調べて、進学や就職をできるようにします。進学か就職を選んでも、最終的には、安定した所で働けるようにしたいです。(1年男子)

・様々な分野の進学・就職の志望理由や仕事内容、やりがいなど4人の卒業生の方々に発表していただいて、めったにない機会の上、貴重な話を聞くことができてすごくうれしかったです。就職をした2人のスライドもとても分かりやすくたくさんメモを取ることができました。貴重な話を聞いたことを胸に、進学や就職のことをだんだんと考えていきたいと思いました。(1年女子)

・学生と社会人の違いは責任感の重さ。学生のうちは先生やみんなのフォローがある。社会人からは責任と礼儀が大切になっていく。マナーや礼儀作法を今のうちから、身につけていくことが大切。(1年女子)

・職業の違う4人の方々から、合格の過程や志望動機を教えてもらえる貴重な経験ができて良かった。それぞれ好きな事や職場の雰囲気からこの道を選んだと言っていて、そこまで仕事に深い思いをもって進まなくても良いんだと思いました。合格の過程も、自分の思っていることを素直に面接で言えば受かると言っていてすごく安心した。この話をふまえ、面接では基本的な敬語の習得、この学校、仕事にいきたい思いを伝えるのが大事だと気付けた。そして、社会に出たら責任の重さがけた違いという事もわかりました。自分1人が遅れただけで全ての人に迷惑がかかり、他人事じゃいられないという事も分かった。礼儀も、今のうちからちゃんとしておくのが大事だということが分かった。(1年女子)

・デッサンの課外など、未来の自分のために考えて計画的に行動しなければならないのは分かっているけれど、「今は夢もないし」「面倒くさいし」と避けていました。将来、やりたいことが明確に思いついている訳ではないけれど、「好きなこと」はあるので、好きなことに関わることでできる仕事がしたいという気持ちに進歩することができました。学生と社会人との違いは責任の重さだと何度も言っていたのが印象に残っています。今は、親や先生方に9割9分助けられながら生きているので、全ての責任を負う恐ろしさが未知です。なので、今から「礼儀作法」を身につけ、大人になったときに失礼をバラまくような人間にならないよう努力したいです。今の内から、大学についてほんの少し触れておこうと思いました。(1年女子)

・自分のキモチを大切に、進路を決めていくこと。自分がいるイメージができるか想像する。自分の“好き”をつきつめる時間をつくること。進路ではみんな悩む。相談をすることで、気づけることがある。気持ちを率直にする。(1年女子)

・高校から先に進むことで、考え方や発見が広がること。高校での経験が役立ったと思える。美大それぞれが何を得意としているか、どんなことを学べるのかを調べておくことが大切。いろいろな作品に見て、触れて、自分の力にしていくこと。(1年女子)

・笠高は進路が様々あることを知りました。今回の講話から大切にしたい言葉、意識していきたいこと、やってみようと思えることを多く知ることができました。(1年女子)

・大学や専門学校など進学すると好きなことにうちこむことができるし、いろんな学科があることを知ることができた。社会人になると色んなことを自分でしないといけないし、礼儀や責任感など大変なことがあるけれど、それ以上にやりがいや達成感を感じることができることを学ぶことができた。これから進学するのか就職するのか分からないけれど今回の話で学んだことを活かしていけるようにがんばっていきたいと思った。(1年女子)

・今のうちから自分の進路についてよく考えようと思いました。まず自分は将来、何がしたいのか、何になりたいのか、を考えることから始めようと思います。卒業生のお話を聞いて、これからの高校生活で大切にしようと思ったことは、責任感と礼儀です。私は今まで責任感を感じたことがないので、社会人になる前に、「責任感」がどのようなものなのかを学んでおきたいです。また、大学について、思ったより知らないことが多くて驚きました。大学進学をする上で、「特待生制度」という制度があることを、今日初めて知りました。大学に行くには、たくさんの費用がかかるので、将来の負担を減らすためにも、今のうちから真剣に授業を受けて、A 評価を目指したいと思いました。今日の卒業生を囲む会では、いろんなことを知ることができました。自分の進路について考える上で、とても参考になりました。卒業生のアドバイスを忘れずに、高校生活を充実したものにしたいと思います。(1年女子)